

東京都  
慢性期医療  
協会 報告

# 都慢協レポート

[発行所]  
一般社団法人  
東京都慢性期医療協会  
〒193-0942 東京都八王子市  
櫛田町583-15 永生病院内  
Tel : 042 (673) 5002  
Fax : 042 (673) 5003  
[発行人] 進藤 晃

## 第11回定時総会

2023年5月20日(土)WEB開催 開催場所：大久野病院



東京都慢性期医療協会 会長  
大久野病院 理事長 進藤 晃

第11回定時総会は感染防止のためWEB形式で行われ、司会は当会事務局の尾藤氏が務めた。総会の議長は、司会からの推薦となり、永生病院の鈴木恵介氏が選出された。議事録署名人には大久野病院の松島勉氏が指名された。正会員71、出席1、署名および委任状38で過半数を満たし、総会は成立していることが報告された。続いて5議案の説明があった。1号議案は2022年度事業報告、2号議案は2022年度決算報告、3号議案は2023年度事業計画、4号議案は2023年度予算、5号議案は役員選任、すべての議案が賛成多数で可決された。各部会の部会長より2022年度の活動総括が報告されたので、こちらに紹介する。



大きな変更はなかったが、基礎編に関しては福祉用具(トランスファーボード)の使用方法について追加した。4部会合同講習会では、東京医療学院大学の内田学先生に誤嚥の予防をテーマに多職種を対象とした講義を行っていただいた。嚥下能力についてのみではなく、姿勢や食事介助などの環境設定まで含めた内容であり、各施設で多職種にて話し合うよいきっかけになったのではないかと思う。

### MSW部会活動総括

MSW 部会会長 陵北病院 佐藤政一

2022年度の役員会は、感染対策から対面ではなくメールやLINEで行い、研修会も昨年同様、ZOOMにて行った。ZOOMを利用することで、普段は距離的・時間的に参加できない医療機関や福祉施設の参加がみられた。今後も開催方法の一つとして検討していく。また対面での研修会希望も多数あるため、感染状況をみながら、対面研修とWEB研修を柔軟に織り交ぜた企画・運営を行っていききたい。今後も部会活動の説明、協力を呼びかけ、連携を強化していく一助となれるよう努めていく。

### 看護部会活動総括

看護部会会長 永生病院 安藝佐香江

2022年度は新型コロナ対応で、現場が多忙だったため、集まったの会議等は難しかった。メールでのやり取りで研修会を企画し、1月に「認知症患者のアセスメント」をテーマにWEB配信形式で研修会を実施。視聴回数は451回となった。3月のオンライン会議で、今年度の振り返りや来年度希望する研修内容、情報交換などを行った。今後の研修のスタイルについては、集合研修よりも短時間のWEB研修の希望が多く、職員の参加を促せるとの意見が聞かれた。

### マネジメント(事務)部会活動総括

マネジメント(事務)部会会長 大久野病院 村山正道

最もタイムリーな話題として「医療監視・適時審査の状況と課題」と題した講習会を2023年2月24日(金)14:00～15:15WEB開催にて開催した。概略は都慢協レポートvol.25に集約したので参照願いたい。内容はあくまでも具体的であることを前提とした。

### リハビリテーション部会活動総括

リハビリテーション部会会長 大久野病院 田島雅祥

2022年度は2021年度同様に配信での講習会を企画した。介護技術講習会では摂食嚥下編に関しては従来と



# 第46回 全国デイ・ケア研究大会2023 in 八王子

## デイ・ケア 地産地消 地域で生み出す街・人・想いを紡ぐ通いの場



東京都慢性期医療協会理事・第46回  
全国デイ・ケア研究大会大会長・医療  
法人社団永生会 理事長 安藤高夫

東京都の慢性期医療においても、リハビリ  
テーションマネジメントや、通所リハビリ  
テーションの最新情報を得る機会になれ  
ばと思い、進藤会長の了承をいただき、本  
イベントを紹介させていただきます。

2024年度に行われる介護報酬と診療報酬の同時改定は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に構築されてきた地域包括ケアシステムを完成させるとともに、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向けての第一歩となる重要な改定です。その重要な改定を控える中で、2023(令和5)年7月21日(金)～7月22日(土)の2日間にわたり、第46回全国デイ・ケア研究大会2023を八王子の地で開催できることに、大きな喜びを感じています。

今回の研究大会のテーマは「『デイ・ケア 地産地消』～地域で生み出す街・人・想いを紡ぐ通いの場～」といたしました。地産地消(地域生産・地域消費)は生産物や天然資源などに

使われることが多い言葉ですが、「デイ・ケア」は各々の街に暮らす高齢者のために生み出され、ご利用者が住み慣れた場所で生活をするための一助となることから、究極の地産地消サービスの1つであると言えます。そして地産地消には、提供側にとっても消費者側にとっても語り切れないほどの多くのメリットがあります。

本研究大会が、全国でデイ・ケアを提供している皆さまとともに「地産地消」という観点からデイ・ケアを見つめ直し、事例を共有、学び、考える場となれば大変うれしく思います。また従来から大きな課題となっているデイ・ケア修了のあり方や認知症の方への対応など、この機会に議論を深めることができればと考え、特別講演や教育講演の企画を練るとともに、参加者同士が意見交換できるような場なども検討しております。

ご参加の皆さまが、報酬改定に備えつつ、地域と共に歩み、地域にとって必要なサービスを提供するための力を得ることができる研究大会となれば幸いです。

会場となる東京たま未来メッセは、2022(令和4)年10月にオープンしたばかりの新しい会場です。大きな展示会場を使い、感染対策を講じながら、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。また同じ東京都で活動している都慢協会の皆様に、八王子を知っていただく良い機会になればと思っております。自然の豊かさ、人々の気持ちの豊かさを共に兼ね揃えた八王子にぜひお越しください。



### 1日目 2023年7月21日(金)

#### 13:15～13:45 大会長講演 メイン会場

演題 「デイ・ケア・ジャパン～デイ・ケアによる、街づくり・人づくり・想い出づくり～」

講師 安藤 高夫(医療法人社団永生会 理事長)

#### 13:50～14:50 協会長講演 メイン会場

演題 「デイ・ケアのこれまでとこれから」

講師 近藤 国嗣(一般社団法人全国デイ・ケア協会 会長)

#### 15:00～16:00 特別講演Ⅰ メイン会場

演題 「診療報酬、介護報酬同時改定に向けたデイ・ケアの備え」

講師 江澤 和彦氏(公益社団法人 日本医師会 常任理事)

#### 16:10～17:10 特別講演Ⅱ メイン会場

演題 「地域包括ケアの深化/地域共生社会に対応した通所系サービスに期待すること」

講師 川越 雅弘氏

埼玉県立大学 大学院保健医療福祉学専攻研究科兼研究開発センター教授)

#### 16:10～17:10 教育講演Ⅰ 第2会議室

演題 「送迎業務における安全感染対策」

全国デイ・ケア協会安全感染対策委員会による  
シンポジウム

懇親会 日時：7月21日(金) 午後6時～

会場：京王プラザホテル5階 翔王の間 会費：¥8,000

催物：八王子市の歴史的芸能文化財を活用して街ぐるみで皆様をお迎えする企画を準備中。ぜひご参加ください。

詳細は大会HPをご覧ください。か、運営事務局までお問い合わせください。  
運営事務局 TEL:042-661-4155

### 2日目 2023年7月22日(土)

#### 9:00～10:00 教育講演Ⅱ メイン会場

演題 「わが国の科学的介護の現状と将来展望」

講師 荒井 秀典 氏(国立長寿医療研究センター 理事長)

#### 10:10～11:10 特別講演Ⅲ メイン会場

演題 「介護保険から地域支援事業への移行  
～八王子の取り組みとその先～」

講師 辻野 文彦 氏(八王子市福祉部 福祉政策課 主査)

#### 11:20～12:20 教育講演Ⅲ 第2会議室

演題 「通所サービスにおける認知症ケア  
～本人・家族・スタッフがウエルビーイングに～」

講師 山口 晴保氏(群馬大学 名誉教授)

#### 11:20～12:50 シンポジウム メイン会場

演題 地域に必要な通いの場とは～それぞれの視点から～  
地域の通いの場を創造するシンポジスト4名による  
シンポジウム

日時 2023年7月21日(金)～7月22日(土)

会場 東京たま未来メッセ

〒192-0046 東京都八王子市明神町3-19-2

大会長：医療法人社団 永生会 理事長 安藤 高夫

主催：一般社団法人 全国デイ・ケア協会

主管：医療法人社団 永生会 八王子

大会ホームページはこちら <https://www.pac-mice.jp/46daycare/>



### 一般社団法人全国デイ・ケア協会

通所リハビリテーションとして様々な対象者層へのリハ・ケアの提供が求められるようになってきました。また、制度的には通所リハビリテーション運営の適正化と質の向上、関係機関との連携などが推進されるなか、病気や障害のある人たちが尊厳をもってその人らしく生きていくことのできる社会をめざし、活動に取り組んでおります。

## 協会関連講演

7月21日(金)13:50～14:50

「令和4年度老人保健事業推進費等補助金  
老人保健健康増進事業報告」

令和4年度に当会が実施しました「生活期リハビリテーションにおける適切な評価の在り方に関する調査研究事業」の調査結果報告です。次期改定に向けて本調査から見える動向を解説します。

7月22日(土)9:00～10:00

「認定デイ・ケアマスター・在宅リハEGコースを語ろう」

当会認定制度の「認定デイ・ケアマスター」、在宅リハに関する多種多様な講義とグループワークを通して在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストを養成する「在宅リハEGコース」修了者によるシンポジウムです。全体討論も予定していますので、ぜひ会場で意見交換を行いましょ。

## 口述およびポスター発表

以下の演題カテゴリーより発表を予定しております。発表形式は口述発表とポスター発表の2会場となります。ぜひ現地での活発なディスカッションを楽しんでください。

発表時間 6分

質疑応答 3分

### ■一般演題カテゴリー(口述・ポスターともに現地発表)

1 経営・運営	2 人材育成・教育	3 生産性向上	4 居宅訪問	5 短時間利用
6 認知症	7 重介護・医療ニーズ	8 リハビリテーション	9 自立支援	10 食支援
11 ケア	12 アクティビティ	13 社会参加・就労支援	14 地域支援・地域活動	15 事例報告
16 連携	17 災害	18 感染症対策(COVID-19)	19 その他	

### ■同時開催イベント

- 会場前広場に八王子を代表する有名店・キッチンカーが集合
- 機器展示会場を一般開放
- 528Hzの音楽…認知症の方に有効と言われている音楽
- 八王子芸者衆によるお出迎え

### ■大会終了後イベント

霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～

高尾山ミシュランプラン(大会2日目午後開催)

ミシュランガイドでの3つ星評価を受けた高尾山。その魅力をぜひ体験いただきたく素敵なプランを準備しております。

- ガイド付ハイキング
- 薬王院での護摩祈祷体験
- 高尾山ビアガーデンでのお食事

日本遺産「桑都物語」の魅力



「高尾山薬王院飯糰権現堂」  
八王子市、クリエイティブ・commons・ライセンス表示4.0



「ミツバツツジ」  
八王子市、クリエイティブ・commons・ライセンス表示4.0



「三福だんご」  
八王子市、クリエイティブ・commons・ライセンス表示4.0



「八王子まつり」  
八王子市、クリエイティブ・commons・ライセンス表示4.0

528Hzという周波数は"愛の周波数"とも呼ばれます。音楽療法的には、528Hzを含む音楽に聴き入ると、心身を安らぎモードに導く副交感神経にスイッチが入り、活動モードを引き起こす交感神経優位によって生じる多くの生活習慣病の改善に役立つといわれています。



3年ぶり開催予定  
2023年8/4・8/5・8/6

# リハビリテーション部会 介護技術講習会 基礎編

2023年5月22日(月)～6月2日(金) 当協会ホームページにてWEB配信

## 講義

### 起居・移乗動作の介助 自立生活を支援するための介助法

理学療法士 セントラル病院 柳川竜一

身体機能・精神機能の向上という、リハビリ職が行うリハビリの時間を思い浮かべる人は多いだろう。しかし、日頃病棟で行われる介護も大きな影響がある。日常的な介護を自立支援に通じるリハビリだと意識して行ってほしい。病気などで寝ていることが多いと、身体機能も精神機能も低下する。その状況で本人ができる部分も介助してしまう過介助を行うと残存機能までもが低下し、負の連鎖に陥る。できる部分は自分で行うことで、残存機能が向上し「起きよう」という意欲がわき、負の連鎖から脱却できる可能性がある。



「寝かせきり」が起こるのは、「本人が楽だから」「職員の業務が多忙だから」という理由もあるが、「対象者の障害や特徴を知らないから」「対象者に合った適切な介助法を知らないから」という理由もある。後者については、「障害の特徴を理解して適切な介助を行う」「障害や特徴を理解して本人ができることはやってもらい過介助にならないように自立支援を促す」などの対応により、介護負担の軽減につながる。

### 正常な移乗に必要な3つのプロセスを理解する

正常な移乗は「立ち上がり」「方向転換」「着座」の3つのプロセスから成る。さらに立ち上がりは、「1 座位→2 重心移動→3 離殿→4 立ち上がり」の4つに分解される。

方向転換は片足ずつのステップで考える。右足を出す際は左足に重心を移動し、左足を出す際は右足に重心を移動する。着座において重要なのは重心移動。座る動作はその場にしゃがみこむように座るイメージを持つ。介助のポイントを理解することで介助者優位の介助とならず、自立支援を活かした介護につながる。



福祉用具を適切に使うことも、現場では欠かせない。福祉用具には様々な種類や調整方法があるので、介助が大変、姿勢が崩れるなどの悩みがあれば、リハ職に相談してほしい。

## 実技

### 移乗動作に着目した実践演習

小平中央リハビリテーション病院  
理学療法士 伊藤・高野

立ち座りを行いやすくするには、おしりの位置が適度に浅く、足は投げ出さず90度より少し曲がっているとよい。座面は低すぎず、足がつく範囲で適度な高さがあること。この状態で立とうとするとき適度なおじぎをすることにより、重心が下肢へ移動しやすくなり、立ち上がり動作がスムーズになりやすい。座る動作は立ち上がりの巻き戻しと考える。重心が下方に降りておしりに戻るといった巻き戻しの動きを意識する。実際には尻もちをつくようななめの重心移動になってしまうことがよくあるので、注意が必要。



立ち上がった後、車いすなどへ移るために体を方向転換することになる。右足を持ち上げるときは左に重心を移動する。右足に体重をかけたまま右足を持ち上げるのは不可能。左足を持ち上げるには右に重心を移動する。一歩踏み出したい足と逆側に重心移動を介助すれば足が出しやすくなる。重心移動をイメージした介助を心がけてほしい。

## 実技

### トランスファーボードを使った トランスファー

城山病院 作業療法士 平石・土方

重介助の患者様の車いすへの移乗の際は、トランスファーボードも活用したい。まず、おしりが移動しやすいように車いすのアームレストを上げ、足があたらないようにフットレストを外す。その後ボードをおしりの下に置いてスライドするように移動すれば、立ち上がる必要がない。使用すると危険な場合もあるので、適応や使用方法などはリハ職へ相談してほしい。



自立支援を促す介助を実現するためには個性を大切にすること、スタッフ同士で話し合うことが非常に大事になる。介助者にとっていかに楽に、早く行うかではなく、一人一人の疾患、体の状況にあわせて残存機能を活かしていかにかにその人らしく生きるかを考えてほしい。

## リハ部会部会長交代の報告

リハビリテーション部会では部会長を長く務めたセントラル病院の柳川竜一氏から、大久野病院の田島雅祥氏にバトンタッチとなった。今後は新体制で活動を展開していく。

### 新部会長より挨拶 大久野病院 田島雅祥

リハビリテーション部会は、前任の柳川氏はじめ、これまでの代表の先輩方、リハ部会の皆様によって素晴らしい会になっていますので、しっかり引き継いでいきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。



一般社団法人  
東京都慢性期医療協会 事務局

〒193-0942 東京都八王子市栢田町583-15  
TEL. 042-673-5002 FAX. 042-673-5003

都慢協レポートのバックナンバーはホームページよりご覧いただけます。PC・スマートフォン・タブレット → 用QRコードです。http://tmik.or.jp

